



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ○探究学習の工夫・充実 ○サポートルームの開設・運営

「師走」のお話し

2023年もあと残りわずかとなり、だいぶ寒くなってきました。

今回の12月の学校だよりでは、師走の話をしてします。「しわす」は12月の別名です。いろいろな説がありますが、一般的には教師の師に走ると書いて「師走」と書きます。「師」すなわち(=お坊さん)お坊さんが走り回るほど忙しい、という意味です。

なぜ、お坊さんが忙しいかというと、昔は正月にも先祖供養をしたからです。

12月は、お坊さんだけではなく、皆さんや家族にとっても、今年のとめをする忙しい時期でもあります。そして、12月には新しい年を迎えるためや厳しい寒さを乗り切るために続けてきた風習があります。

12月13日は「正月事始(しょうがつ ことはじめ)。「すすはらい」「松迎え」とも言います。「すすはらい」とは、いりから出たすすで真っ黒になった天井を掃除することです。今では「大掃除」といいます。「松迎え」とは、玄関に飾る門松やお雑煮を炊くための薪など、お正月に必要な木を山へ取りに行くことです。

12月22日は、「冬至」。1年で一番夜の長い日です。厄除けのため、体を温めず湯に入ったり、夏場の野菜で栄養がたくさんあるかぼちゃを冬まで大切にたておいて、「冬至かぼちゃ」というあずきがゆを食べたりします。

今ではなくなった風習もあれば、今でも残っている風習もあります。でも、変わらないのは、昔の人も、今の人も、寒さを乗り越えて、新しい年を迎えるのが大きな喜びということです。

生徒の皆さんも、健康に気を付けて、今年のとめをしっかりと行って、新しい年を気持ちよく迎える準備をしましょう。

2学期終業式を迎えて

12月22日(金)は2学期終業式です。翌23日から1月8日(月)の「成人の日」まで17日間の冬休みとなります。この時期はクリスマス等で華やかな街並みを見るようになったかと思えば、お正月を迎え、日本の伝統文化に親しむことのできる時期で、風景の変化も鮮やかです。時の移り変わりを楽しむとともに、年度の途中ではありますが、これまでの1年間を振り返り、来年のことに思いを馳せる有意義な時でもあります。

夏休みより短いとはいえ、計画的・規則的に過ごせるようご指導をよろしくお願いいたします。来年の1月9日(火)の3学期始業式で、生徒の皆さんの元気な姿が見れることを楽しみにしています。



令和5年も、大変お世話になりました。有難うございました。